

平成28年度第3回社会教育委員の会議

平成28年7月22日（金）

午前9時30分開会

開催日時	平成28年7月22日	開会 9時30分 閉会 11時00分	
場 所	前原暫定集会施設 A会議室		
出席委員	議 長 原嶋 和男 副 議 長 柴田彩千子 委 員 北村 景子 委 員 石田 静子 委 員 城 瑞枝	委 員 長坂 寛 委 員 小山田佳代 委 員 佐野 郁蔵 委 員 原田 隆司	
説明のため出席した者の職氏名	生涯学習部長 西田 剛 生涯学習課長 石原 弘一	図書館長 菊池 幸子	
事務局	生涯学習係長 小堀久美子 生涯学習係主事 小佐野七香		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1	協 議 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 会議録の承認について</li> <li>(2) 地域文庫補助金交付について</li> <li>(3) 第58回全国社会教育研究大会千葉大会（第47回関東甲信越静社会教育研究大会）について</li> <li>(4) 平成28年度視察研修について</li> <li>(5) 三者合同会議について</li> <li>(6) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>①科学の祭典について</li> <li>②その他</li> </ul> </li> </ul>
第 2	報 告 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について</li> <li>(2) リオオリンピック・パラリンピック関係事項について</li> <li>(3) その他</li> </ul>

原嶋議長            それでは、この次第に沿って進めていくということでお願いします。  
す。

その前に配付資料の確認等々はよろしいですか。

小堀生涯学習係長    では、次第の3番に書いてある資料と追加で、この間、原嶋議長と事務局で行った会議について、理事会からブロック会議の研修についての資料が配られましたので配付いたします。小金井は第5ブロックになりますので、第5ブロックの研修に参加するのが基本ですけれども、どの研修に参加してもいいということで聞いております。とりあえず日程が詰まっていますので、研修の資料も配らせていただいております。よろしく申し上げます。

原嶋議長            それでは、まずは会議録の承認について。

小堀生涯学習係長    第1回の会議録について、前回の会議で、ですます調に変えさせていただくということでお話をいただきまして、第1回の会議録もですます調に変えましたので、第2回の会議録とあわせて皆さんに再度チェックをしていただいたかと思います。こちらでご承認いただけるかどうかお願いします。

原嶋議長            よろしいですか。ご異論なければ。

（「ないです」の声あり）

原嶋議長            では、承認したということで進めさせてください。

それでは、地域文庫補助金についてお願いします。

菊池図書館長        図書館長です。それでは、議題の（2）地域文庫補助金交付についてをご説明させていただきます。

資料は、A4の横の平成28年度地域文庫補助金交付内訳になります。団体に対しまして補助金を交付しようとする場合、社会教育法に基づきまして社会教育委員の会議の意見をお聞きしてから行うことになってございます。

図書館では、小金井市地域文庫補助金交付要綱に基づき、読書普及の活動の活発化を図るため、図書及び読書に関する研究、調査、

相談、講習、その他の活動を行い、地域社会に奉仕する地域文庫に対して補助対象経費の2分の1を限度として補助金を交付するものでございます。

平成28年度の団体補助金につきましては、小金井市子ども文庫サークル連絡会から申請が出ております。小金井市子ども文庫サークル連絡会は、地域で活動している文庫やサークル7団体で構成されておりまして、今年度につきましては子どもと本を結ぶという事業に対して交付するものでございます。

事業としまして、次のところに小金井市地域文庫補助金交付要綱をおつけしてございますので、ごらんください。

ご説明は以上になります。

原嶋議長

ありがとうございました。交付要綱に基づいて、この団体に交付したいということですね。3万円の交付ということですか。

まずはご質問をお願いします。

よろしいですか。では、このことについてご承認いただけますか、皆様。どうも、ご苦労様です。

では、次に入ります。

石原生涯学習課長 済みません、議長、ちょっと補助金に関連するところで、ご報告をさせていただきます。前回、社会教育関係団体の補助金について4団体の予算枠に対して5団体から申請があったことにつきまして、抽選会を開催いたしました。それで、5団体のうち3団体の方がお見えいただきまして、不在の団体の分は事務局で抽選を引きまして、抽選の結果、4団体に補助金を交付することといたしました。

その中で、社会教育関係団体の方からご意見としてあったのは、抽選という形で運で決まるようなことではなく、例えば全団体の合意があれば1団体当たりの予算額を減額して全団体に交付することができるようにであるとか、そういったことも今後、社会教育委員の会議の提言に基づいて抽選を行ったことではございますが、今後の新たな提言などもお考えいただけるとありがたいというようなご意見をいただいております。

今回初めて交付申請をいただいた小金井吹奏楽団GREEN'Sについて抽選の結果、交付しないこととなりまして、交付の決定を

させていただいたのが、小金井写友会の写真展、KOKOぷらねっとのKOKOぷれすボリューム138回相談特集小中学校編事業、こがねいロケよび隊第5回「小金井が好きだ。」ポスター写真コンテスト、高次脳機能障害者小金井友の会（いちごえ会）の高次脳機能障害者支援事業、以上の4つの補助対象事業を交付対象と決定させていただきました。

原嶋議長 要望が出たということですね。

石原生涯学習課長 はい。

原嶋議長 交付要綱。基本的にはこの前、修正になるということが書いてありますけれども、そういう考え方もできるのではないかという要望があったようです。この前の報告がありました。

菊池図書館長 議長、済みません、始まったばかりで申しわけないんですが、ほかの会議と重なっておりますので、早々で申しわけないんですが、退席させていただきます。

原嶋議長 どうもご苦労さまです。

では、続きまして、第58回全国社会教育研究大会千葉大会ですか、ちょっとおあけください。資料が多いですね。

要は協議というか、参加のお願いですよ。

小堀生涯学習係長 そうです。申し込みが8月末になっておりまして、例年お二人に参加していただき、昨年はちょっと急遽皆さんにお声がけさせていただいて、佐野委員と原田委員にご出席いただきました。まずは資料1の説明をさせていただきたいと思います。

原嶋議長 どうぞ。

小堀生涯学習係長 委員の方には冊子と、あと少し部数が足りなかったので申し訳ありませんが、コピーしたものをお配りしておりますが、そちらの中に参加の際の費用が書かれておりまして、ご本人様が負担する部分がわかりづらいため、そちらを資料1としてA4の資料をお配り

しています。

順番に、大会参加費と次の交通費については、個人負担はございません。あと、情報交換会というのが1日目の10月27日、ちょっと済みません、2泊3日のように読み取れますが、通常の委員の方は1日目の宿泊はないということなので、10月27日から28日の1泊研修という形になりまして、情報交換会が10月27日に行われます。そちらの参加は自由になっているということで、あと、10月27日の昼食を申し込むかどうかも自由になっております。

宿泊のホテルについては、パンフレットというか冊子のほうにホテル名とシングルの場合幾らというのが記載されておりますが、ホテル等によって異なっておりますので、そちらは金額がまちまちとなっておりますが、市からお出しできる費用としては、宿泊費1万3,000円と1,800円掛ける2日分ということで、こういったものを合わせた1万6,600円がお支払いできますので、差し引いた額で、情報交換会にも参加してお弁当も頼んでホテルが一番高いところになってしまったといった場合には、自己負担が出る場合がございます。一応そのことを資料に記載しています。

原嶋議長

ありがとうございました。基本的には市の教育委員会のほうから出すということです。

私ども事務局だとか役員の方は、26日の参加ですから、基本的に27日、28日の1泊2日になるということです。皆さんのスケジュールごらんになって、1人も出ないということのないように。スケジュールを勘案されて。

佐野委員

佐野ですけど、去年参加させていただいたんですけども、非常に勉強になるので、今年もというのはよろしいのでしょうか。

原嶋議長

抽選という感じも出てきますね、先ほどみたいに。いいことだと思います。どうですか、ほかの方のご意見は。

柴田委員

よろしいですか。例えば、日帰り参加でもいいんですか。

石原生涯学習課長

去年だったかおとしだったかも、宿泊はちょっとできないので、日帰りで自分が参加できるところだけ参加するという方もいら

っしやいましたので。ただ、全部出たいという方がいれば、その方を優先して、どなたもちょっといらっしやらないけれども、一部だったら出れるという方がいらっしやったら、それも可能と思っています。

柴田委員           ありがとうございます。

原嶋議長           どうぞ、ほかにご希望される方。  
佐野委員さんについてはお願いできますかということによろしいですか。ご承認いただけますか。  
1泊2日ですか、佐野さん。

佐野委員           そうですね、懇親会がすごくいろいろなところの方とお話ができるので。

佐野委員           その夜帰ってくるというのは、ちょっときついな。

原嶋議長           あとお出にならなければ。  
1日のみでも構いません。日帰りですね。今質問されたのは。意欲があつての質問ではなく、ただ単純な質問ということですか。

柴田委員           そうですね、ちょっとまだ予定がわからないので。

原嶋議長           行けるとしたら1日目が行けるんですけど。

石原生涯学習課長   そこはほかの方々のご調整で。

原嶋議長           それで2回目になってしまいますが、いかがかと。何年か前に鎌倉に確か行ったことがあるんですけども、その上で10月27日、そしてシンポジウムと講演を聞いてということによろしいか。  
ご返事がないようですので、佐野委員さんが27日、28日の1泊2日ということと、原嶋が講演会、シンポジウムを聞いて帰るとのこと。もしそういうわがまを許していただけるなら、10月27日大丈夫だと思います。  
ただ、いつまででしたか。

小堀生涯学習係長 8月31日までです。

原嶋議長 今月末ですので、私をターゲットとしてよろしく申し上げます。では、私、原嶋と佐野委員さんが参加ということでお願いいたします。

では、次に進めます。28年度視察研修なんですけれども。資料2をちょっとごらんください。今の小堀さんが説明して下さった予算関係、資料1の後ろですね、資料2、これは私のほうでつくったというか、この前のテーマを書きまして、地域の教育力を活用した学校教育への支援のあり方、非常に基本的なオーソドックスなテーマに変えたということで、市の施策にやっぱり準じたやり方ということで、こういうようなことでテーマを決めさせていただきました、皆さんの合意。

学校訪問ですけれども、これについては小堀さん、何か途中結果みたいなものありますか。

小堀生涯学習係長 済みません、小山田委員にちょっと小平のほうの学校でお知り合いというかどうかおすすめてところありますかということでお願いして、やってくさったところがあるんですけども、もしよろしければそれについて小山田委員にお話しいただいてもいいですか。

原嶋議長 お願いします。

小山田委員 では、ちょっと資料はないんですけども、一応小学校のほうでコミュニティ・スクールをやっているところの中で、見学してもいいというか、広報というか、出していただいたんですけども、それぞれやっぱり細部が微妙に違うので、あと、場所とかもありまして、その中でどれがいいかということ、今日、皆さんとご相談して決められたらというのはあります。

場所としては、まず第六小学校と第四小学校になります。

小堀生涯学習課長 追加資料として小山田委員が調整していただいた内容のメールの資料を配ってもよいでしょうか。



小山田委員

そうですね。じゃ、それを配るように。今、メールの資料が済みません、配られましたけれども。第六小学校はコミュニティ・スクールとしては最も古くて、学校の経営戦略までが地域の方一緒にされていて、それを反映させているということで、最寄り駅は西武線の小川駅になりまして、徒歩でも近いと。

続きましてが第四小学校で、こちらコミュニティ・スクールとしては古いということで、行事を主に委員の方たちが立案して、実際に実行しているというのが、特徴というところなので、最寄り駅は一橋学園駅なんですけれども、ちょっと歩くと15分から20分ぐらいかかるから、少し、もし普通の電車で行くとしたらちょっと歩くかなというところだということです。

続きましての学園東小学校につきましては、これは最も、昨年度からということで新しいコミュニティ・スクールとして始まったということで、こちら行事を、立案を委員がやっております、実際に実行しているということで、最寄り駅は、こちらが一橋学園駅なんですけれども、徒歩で10分なので、四小よりも近いというような、この3つの中のどこかがいいんじゃないかということで、一応、広報として挙げていただきました。

あと、ちょっとおまけということで、例えばもし第六小学校ですと、近くに第二中学校というのがありまして、こちらは中学でも放課後の学習支援というのをやっていらっしゃるの、タイミングというか、合えばそちらのほうも伺えるかもしれないということで、それですと六小に行って二中に行くということが出来るのかなというところなんです。

ちょっと、老舗がいいのか、新しいところがいいのかというのはありますので、皆様のご意見を伺いたいと思っております。

時期的には、今からですと、夏休みに来てもやっぱりお子さんたちがいないから、あと、やはりコーディネーターの方が一応説明して下さったりするということです、その方たちがいらっしゃる学校も、やっぱり子どもたちがいる9月入ってすぐぐらいがよろしいんじゃないかということも考えていますので、日程調整のほうで見ていただければと思います。

原嶋議長

ほかにアプローチしてみたということは、あれば、それも変更し

て、俎上に載せてもいいのかなと。あまり出なければ。

石原生涯学習課長 一応、小中一貫のお話があったので、特に小山田さん、実際動かれているので、そっちの日程が決まったら、この日程で行けるんですかというふうに言わないといけないかなと思って、全く当たりはつけていないんですけれども。文科省の事例集のほうに出ている三鷹中央学園なんですけど、先日、ちょっとうちの生涯学習係の人間が研修を受けたときの講師が、三鷹連雀学園の学校運営委員の方が講師でだったので、そういうつても、小中一貫のほうだと、向こうのほうが見学とかどうぞと行っていただけるかどうかわからないんですけれども、そういったものも、見るか見ないか、ご検討いただければと思います。

原嶋議長

ありがとうございました。

ほかに。それでは、主に小山田さんがコンタクトしてくださった部分を土台にしていきたいなど。ただ、今回、交通手段が、どうもバスが、今回、申請しておられなかったということなので、昨年、例えば杉並の端っこから今度小平までというA地点からB地点の、非常に暑い中、クーラー効いて、可能であったんですけれども、今回は申しわけないんですけど、それができないとなると、かなり集中したところでないと、やっぱり8月、9月でしたよね。きついですよね、想定してもね。

なので、場合によっちゃ1カ所だけでも重点的に伺っても構わないと思いますけれども。

原田委員

原田です。徒歩で行くとすると、ここに書いてあるような近いところがいいですよ。

原嶋議長

いいですね。

原田委員

しかも中学校も近くにあるところがあるのは。

原嶋議長

六小ですね。

原田委員

内容はちょっとわかりませんが、第六小学校と第二中学校、両

方行けばいいかなと思いますが。

原嶋議長 話は全く関係ないけど、夏休みって去年こだわったのは、やっぱり先生方、講師さんも含めて安定して、子どもたちがいないから、それで対応できるのかなというのが一つと、中学校の場合は夏休みを終えると急にやんちゃな子が増える場合も多いんですね。

そんなことで夏休みってこだわったんで、小学校さんは小平も含めて安定してきているのかな。

石原生涯学習課長 ちょっといいですか。六小は外側からしか見たことないんですけど、ブリヂストンに。

小山田委員 近いところですか。そうです。

石原生涯学習課長 何か結構ブリヂストンの企業の方みたいなものも取り込んでやっているような印象もあるんですけど、その辺、何か内実とかご存じだったら。

小山田委員 ブリヂストンのほうがどのぐらい入ってきているのか、ちょっとそこはわかりかねるんですけども。

石原生涯学習課長 あまり企業の方とかでやっているのと、小金井で取り組める余地があまりなかったりするかななんて思って。

小山田委員 そうですね、いろいろ学校とかで昼食とかも一緒に食べる、皆さん地域の方が一緒に給食を食べる時間なり日も設けられているとか、わりとそういった取り組みはもちろんされているので、ちょっと企業のところは私はあまり伺ったことはないんですけど、ほんとうに地域の方が中に入っているという感じがします。

原嶋議長 今みたいなご質問、どうぞお願いします。

何としても受け入れていただくという、こちら側の思いもありますけどね。

どうぞ、石田さん。

石田委員            できれば、何か行事をしているときに見せていただけると、コミュニティと学校側との連携がわかるかなという気がするんですが。お話を伺うだけだと、学校側の理想と、それからコーディネーターの取り組みで、一番わかるのが行事をしているときかなという気がするんですが、ただ、向こう側にしては結構迷惑な話だとは思いますが。

原嶋議長            あと、幾つか要望みたいなのはありましたけれども、それを全てクリアするのは、向こうさんのご都合があるから難しいかもしれませんね。9月入ればどんどんまた行事が入ってきますし。

                         小学校ですと、行事のために結構時間食うんですよね。文化祭とか何か。生徒、向こうさんのご都合、コーディネーターさんの都合、勘案してお願いしたらどうでしょうかね。

                         ということで小山田さんに振っちゃうといけないと思うんですけど。いいですかね。

小山田委員            はい。第六小が第一候補で、二中とセットで行ける日があれば、ベストってことですよね。

原嶋議長            あればということですね。

小山田委員            どうしても六小のほうが……、皆さんの定期的なものが、こちらのご都合ももちろんあるんですけど、大丈夫ですかね。9月の1週とか2週。

原嶋議長            9月の1週は後でお話ししますけど、1週目か2週目に、もうブロック研修会が入ってきたので、ちょっとこのほんとうに忙しい、後で日程表の確認をいたしますけれども。

小山田委員            では、早めになるべく。

原嶋議長            でも、子どもたちって……。

小山田委員            落ちつかないかもしれないです。

小山田委員       では、とりあえず幾つか候補日を抜き出して、また皆さんにメールとかで流していただいてということで。

原嶋議長        ありがとうございます。済みません。

小山田委員       わかりました。

原嶋議長        いろいろ調整方、これからも大変ですけど、今までもほんとうにありがとうございます、助かります。

                  この件は、あと、要望等がなければ、基本的には向こうさんのやっぱりご都合、迎えるほうのご都合がやっぱり優先するのかなというふうには思います。

                  その次、行きましょう。三者合同会議についてです。資料2をごらんください。前回、柴田委員さんのプレゼンから、地域活動の活性化の取り組みについてということで、多くの方々の委員さんのご出席をいただきましてありがとうございます。

                  11月18日というのは、これはある程度の、クエスチョンマークつけたんですけど、それぞれ三者の方々がそろえばということでしょうけれどもね。

                  こういうことをしたらいいのかなというのはありますか。この前はまず懇談会でできるだけそれぞれのパートで和やかに話し合いをして、かなり進展していったところもあるのかなというふうには思っております。

                  ありがとうございます。

柴田委員        柴田です。前回、5月27日の各グループワークの発表の中で、地域の特色を生かしたイベントをやったらどうかというような提案が出たと思いますが、それに関連しまして、例えば提案なんです、11月の三者懇談会では地域の特色というキーワードで生涯学習の分野の地域学、地元学といういわゆる小金井の歴史とか文化をやっぱり小金井の委員さんたち自身が詳しく知っておいたほうがいいんじゃないかということで、小金井の歴史や文化に詳しい方に地域学、地元学、そしてそれを教育につなげるというようなお話をさせていただくのはどうかと提案させていただきます。

                  それで、小金井の市民の方で、もう定年退職をされました方でメ

ディア関係でお仕事をされていた方がいらっしゃるんですけども、今、学芸大学の環境保全活動にかなり熱心にメンバーとして加わってくださっている方がいらっしゃいます。

小金井の園芸文化というんですか、庭園づくりで、園芸文化ですね。庭園づくりで発展していったとか、それから、藍とか茜染めというんですか、そういった小金井の歴史と植物のこと、関係であるとか、そういったことに大変詳しくて、いろいろな教育構想、アイデアを持った方がいらっしゃいます。

謝金が出ないということなんですけれども、ボランティアでやってくれそうな雰囲気を感じていますが、おもしろい方で多分60代の方だと思うんですが、司馬遼太郎さんとかドナルド・キーンさんとも親交がおあり、司馬遼太郎さんはお亡くなりになりましたけれども、博学な方でいらっしゃいます。お話がおもしろそうなので、もしよろしければと提案させていただきます。

原嶋議長

今、柴田委員さんがおっしゃったようにお金が出ないんですね、自分たちで苦勞しなさいという、非常に優しい配慮でしょうかね。話は変わるけど、そろそろ出したほうがいいんじゃないかなと思って、ある程度、交通費ぐらいいはね。僕も頭に描いた人は、出ませんと言われたから没にしちゃったんですけども。ほんとうにボランティアで講義していただくことになると思いますけど。

あの人出したらすごいい、僕なんかも地べたにずっと住んでいきますけれども、あまり知らないですよ。勉強したいなというものもありますし、マルチなんか勉強されていますね、これ、すごいですね。

佐野委員

ちょっと佐野ですけど、今回、そういう形になるのかなというふうに思いますけど、次回から、もしこういうテーマでいろいろやられて、小金井の風物詩になりました阿波踊り、これ、結構市民の方も参加されますし、いろいろなところから参加されている。何かそういう関係の方にちょっとやっばりお話をさせていただくこともおもしろいかなという、地域活性化という、地域活動の活性化という。

原嶋議長

そうですね、地元にこだわっていけばね。

佐野委員 つながってくるかな。次回以降、いろいろ考えてきますけど。

石原生涯学習課長 ちょっと予算のお話もあったので、一応参考までに申し上げます。昨日、管理職の研修があつて、部課長とか市長なんかも受けたんですけれども、講師は商工会長の村越さんで、ただでやってくれというお願いで、いや、こちらからでもやりたいと、リップサービスかもしれませんが、そのようにおっしゃって、無料でいろいろ資料とかもパワーポイントで用意していただいたりもしたことがあります。なるべく、もし予算をかけてやるようなことを、持ち回りでやるので、次、図書館、公民館でしたか。公民館の来年予算取りをしなくていいのかというようなところもあるかなと思います。

原嶋議長 いずれにしてもやんなきゃいけないんだから、最低限交通費ぐらいは配慮してもどうなのかなというのはありますね。

石原生涯学習課長 合同会議という名称なんで、こういう研修会という位置づけを持たせるのかどうなのかというところもあるかなと思いますけど。

原嶋議長 話はわかりましたけど。そういう阿波踊りも風物詩としていいのかなということにはなりましたけれども、ほかにありますか。  
なければ、今、柴田委員さんのほうに無理振っちゃっていいのか、ここら辺のところ。

柴田委員 連絡をとってみます。

原嶋議長 ありがとうございます。

柴田委員 日程は11月18日の2時から4時でいいんでしょうか。

小堀生涯学習係長 三者合同なので、三者のそれぞれ、図書館協議会・公民館運営審議会の正副の委員長には確認しないといけないので、そのあたりの日程でとは思うんですけれども、ちょっとこの日でというところの決定はまだできないです。

柴田委員 わかりました。

原嶋議長 　　いつ決まるの。そうでないとアポしづらい。

小堀生涯学習係長　　そうですね。メール等でそれぞれの事務局とやりとりしまして、なるべく早くご連絡いたします。

原嶋議長 　　やりとりして、早めに言っていかないと。

柴田委員 　　小金井の地元学、地域学というところと教育、社会教育に結びつけたお話をさせていただくということでお願いしてみます。

原嶋議長 　　ありがとうございました。

その次、行きます。その他に入りまして、①の科学の祭典について、あと、その他がありますね。何かお持ちですか。ありますか。

（「ないです」の声あり）

原嶋議長 　　ないですか。では、とりあえず、その他の①ですか。議題についてはこの最後になると思います。科学の祭典、これは私のほうが、これをこの前石田さんからいただいて、10月9日ですね、小金井市も教育委員会が主催でありますので、こちらもバックアップしなくちゃいけないのかなというふうに思っています。

なお、話はそれました、済みません、ごめんなさい。視察研修、僕も何度か出ましたが、古家先生がこういうのが参考になります、この前の会議でありました、ぜひまたお読みください。よろしかったら、私の周南市の、これはまとめの的にずばっと書いてあるので、結構参考になるのかなと思っています。こういうのを頭の中に入れて視察のほうに出向かれたらよろしいかと思えます。

それでは、済みません、前後しちゃって。科学の祭典は、出展を皆で協力してやっていくということでいかがでしょうか。

原田委員 　　質問です。今まで参加したことがないんで、何をしたいかわからないんですが、どなたか教えてくださいませんか、当日。大まかにどんなことをやるか。

原嶋議長 　　では、石田委員さんが、大まかにどんなことを今まで社会教育委



員はやってきたのかということでご説明をお願いできますか。

石田委員 済みません、じゃ、座ったままで。

城委員 1枚ずついただいてよろしいんですか。

石田委員 いや、1枚ずつちょっと手におとりください。また後で回収しますの。

昨年とその前の年と2年、3年ですかね、私たちが入る前からもしているんですが、そこでもぐるぐる回るテトラ、それ、こう回転していくと。

原嶋議長 こういう感じですよ。

石田委員 この形になって回転していくといろいろ出て、ここに粘着テープが張ったのもあるんですが、それを折っていくと、私たちがこれをコピーしたのを切り取る作業と、それからここにちょっとラインを入れる、線引きで。それで、この形で子どもたちに提供して、絵を塗りたい人は塗るといった感じにして、あと、これを矢印のとおり折っていくんですね。そして、これをのりづけのところに張っていくんですけど。そうすると、これがちょっと折り目が入っています。三角形になって、今、皆様の手元にあるような形がつかれるんですね。そういうのをやったんです。

昨年は、ちょっとその前に科学の祭典のサイエンスライフショーでやった実験が残っていたので、発光ダイオードの光の三原則で赤と青と3つの色をやると真ん中が白になるという実験でも余っていたので、事務局からもらってやったんですが、これがメインです。

あと、水に浸すとスイカとか何か絵が浮き上がるようなのをやったんですけど、あれ、乾燥させると難しい。

小山田委員 いや、そういったこともない。あれ、結構おもしろかったと思っただけですね。要は光の反射を利用して、彩色を、絵があるんですけど、水の中に漬けると消えるというのがありまして、わりとそれ、結構子どもたち楽しんで、それが持って帰ってもらうというような

のも一つはやったんですけど。

石田委員           それからCDに絵を塗って、それでコマにつくるとか、何種類かやっていたんですが、あまりたくさんやると大変になったので、1つか2つくらい。今日持ってこなかったのはビニールのこのくらいのジップのついた袋に絵を描いたポストカードを入れて、それを水の中に入れると水との光の反射でその絵が浮き上がってくるというのをやったんですね。小山田さんが1人で絵を描く専門でやっていたので、今、ちょっと私、それ持ってきているつもりが入っていないので。

          ただ、去年、発光ダイオードの実験キットが残っていたので、それをやったんですが、ちょっとお高くて。材料費としては1万円までは科学の祭典の事務局で出す予定にしているんですが、ちょっと発光ダイオードのお高くて買えないんです。

          これ、こんな形で折っていくんですね。そして最後にこことここを折り合わせていくと、ざっとですが、きちんと折っていない。そうするとくるくる回ってできるんですが。

原嶋議長           ありがとうございます。来るほうを、対象を見ますと、やっぱり幼稚園から大体小学三、四年生くらいですね。親子で一緒に来て楽しんでいるという光景ですね。

          予算は大体1万円以内だそうなので。

          ほかに何か科学の実験ということのテーマで。

石田委員           何かお持ちでしたら。

原嶋議長           そうですね。去年、古家先生が食べ物関係出したんだけど、やっぱりこの時期、食べ物って難しいですよ。

石田委員           難しいですよ。シソか何かやレッドキャベツで。ただ、高校生のボランティアスタッフをお願いすればできまして、一番最初にこういう説明をしてしまうと、高校生のボランティアが結構やってくれるんです。ですから、私たちは陰でテープを張る作業を後ろでこつこつとやったり、前に準備会を1日持って準備をしました、昨年

原嶋議長            高校生、科学総合技術高校、前の小金井工業高校ですね。すばらしい生徒さんたちがボランティアとしてやってくださったんですね。

石田委員            高校生もボランティア要望を出せば要望できると思います。もしテープのついているのをお持ちの方は、折って張ってみますと、こんな形に張るんですね。一番最後は、ここのべろがついているのをここに差し込む。これをボンドとかいろいろやったんですが、両面テープが手が汚れず、危険ではなくて、一番使いやすかったという感じで。

原嶋議長            どうですか。

石田委員            とりあえず私が資料を持っているのは、前回の委員の本多さんから引き継いだ、これだけです。あとは新しいアイデアは何もなくて。

原嶋議長            急に、こういうのもあるんじゃないかと言われてもなかなかふつと出ないのかもしれませんが。

                         北村委員さんなんかどうですか、何かお持ちですか。対象は小学生前後ということです。さすがに中学生はいませんね。

佐野委員            ここまでできているのなら、これは入れたらどうですか。

石田委員            だから、ここまでできているのを配ってしまうのはどうかというのと、色を塗ってこういう形に仕上がったときに両方の色が合わさっていく。大きい絵で回転したときに、こことここが合わさるという形をつくりたかったそうなんですが、なかなかそれが難しいんです。コピーするのが。ちょっと合わすのを調整してみようかなとも思っているんですけど、うまく。これは原嶋さんが全部コピーしてくれたんですね。

石田委員            カラーコピーを全部してくれて。

                         とりあえず私の持っている資料は引き継いできたこの資料なんです。

石原生涯学習課長 アルミ線で、何か伊藤さんがこれで手品をやって何か組み合わせを変えて、絵をずらしたりそろえたりとかするって何か手品の小道具でもそれを使っていたとか。

石田委員 そうなんです。それがうまく。前回の委員の伊藤さんという方から、ペーパークラフトをやっていますので、今年は単独でブースを出展なさっています。

何かあれば。

原嶋議長 こんなのがあってどうですか、ほかに。

石田委員 これも大人でもつくってみると楽しいので。

原嶋議長 ある程度、これ、決めないと。

石田委員 本多さんからあれをもらえと思うんですけどね、メールの、資料。

原嶋議長 こちら辺で確認いただく。ほぼ決めていかないと、もうこのことのための話し合いはできないのかな。次に視察に入りますと、もうできないのかなと思いますので、ある程度大枠のことを決めていかないと進められないということです。

これは小堀さんにつくってもらった日程表が、これなんかも常にご覧になってください。そうすると、10月9日なので、結構もうぎりぎりのところで、今、こういったようなことをお願いできないかということです。

前日の準備って、もう1時間か2時間で大体、去年のケースですと終わってしまいます。掲示物も何かやっていましたよね、例年。

石原生涯学習課長 やってましたね、去年は。

石田委員 去年はこれを。（去年の推進計画を展示した模造紙を見せる）

石原生涯学習課長 推進計画の関係。

石田委員 推進計画の第3次のあれでしたので、これを張っていたんですけど。今年も3次推進計画、本になりましたので、これを張れませんがね。

原嶋議長 これはどなたが作った。課のほうですか。

小堀生涯学習係長 はい、つくりました。

石田委員 これは、だから、もう今年は要らないのかなと思ったんですよ。張れるんだったら張りますよね。後ろに黒板がありましたよね、あそこ。でも、使え……皆さん、本ね。

原嶋議長 これ、拡大コピーでA4からB4ぐらいになる。A3にしていな

石原生涯学習課長 A3までは出せますね。

原嶋議長 出せますか。いいですからね、それはでっかいほうがいいんだけどね。

石田委員 それとこれ、誰かが当日カットして書いてくれました。もう一枚も誰かがカットしてくれたものです、不思議なテトラ。

原嶋議長 それだったら、何かやってみますよ、そういうのを。パソコンで引っ張り出して、絵とかかわいらしいのを入れればいいわけですよ、不思議なテトラ。

石田委員 きっと、当日ぱっぱと書いてくださって張ってくれたんじゃないかと思うんです。

原嶋議長 そのほうがいいのか。人工より。1枚、用意しておきますよ、でも。カラー版で。要は三原色の何だっけ、あれ。

石田委員 光の三原色ですね。

原嶋議長           あれも一応考えて出して。

石田委員           あれ、全然値段調べていないんですが、発光ダイオードが幾らくらいするか。

原嶋議長           三原色とこれを基本的に、これというか、不思議なテトラ。

石田委員           三原色は多分発光ダイオードのミニ、小さいのと、それからボタン電池が3つ使いましたので、それが結構お高いんです。

原嶋議長           それもやるということで。やりたい、やると。

石田委員           やったんです。

原嶋議長           では、ご意見がないようなので、一昨年のを踏襲しながら、よりちょっとは工夫していくということで。

石田委員           はい。

原嶋議長           そんなに潤っていない。

石田委員           どなたか、この絵柄を合わせたときに、例えばここに全部合わせたらここへスイカができたとか、理想は種をまいて芽が出て、それでスイカの実になったというのをやりたかったんです、例えばの話ですが。

それがなかなかできなかつたんです。幼虫がさなぎになってチョウになったなんて、最後にやったらチョウチョウになったとか、そういうようにしたかったんですけど、この絵合わせが難しくて、昨年担当していた方が時間がなくてギブアップと言っていたんですけど。私、今年研究してみようと思ったんですけど、まだできないです。

どなたかそういう絵に挑戦していただける方は。

原嶋議長           あまり手が挙がらないです。

石田委員 やっぱり難しいんです、本多さんがギブアップしたんです。

原嶋議長 私の苦手な部分だな。

石田委員 あれだけ夢中でなさる方が。

原嶋議長 そうすると、これを見ますと、前日準備とか何かは、改めて今日お話ししていただきましたので、できるだけ皆さんがどこかの形で参加していただく、この表ですね、今お話しさせていただいているのは。ぜひお願いしたい。少なくとも4人ぐらいで対応しないと、お子さんが多い場合にはちょっとあたふたしてしまう。

前日については二、三名でも構わないかなというふうには思っていますけれども、このための会議はとれないかなというふうには思っています。あるいは小委員会みたいな形で進めるかどうか。

石田委員 もしこれをやるんだったら、28日にこれの作業をする時間を少し欲しいなど。昨年みたいに。

原嶋議長 28日というのは。

石田委員 8月28日しか、今度集まらないんじゃないかという気がするんです。26日です、済みません。26ですね。8月26日に社会教育委員の会議があるけど、9月はないですよ、今のところ予定が。10月は21日になってしまうので。

原嶋議長 ただ、これ、視察研修になった場合、これが変更の可能性がある。場合によっては、今日が最後で、臨時的に小委員会的に集まっていたら、あと委員の皆さんにもそのときに顔を出していただいってお手伝い願えるかということになると思いますけどね。

10月9日に入れてもらうの、10月9日がこの科学の祭典ですので。

佐野委員 佐野ですけど、こういうものを大体やるのだと思うんですけど、現場でもってこれをつくるというのは、ちょっと厳しいと思

ますね。ですから事前に、大体今まで何人ぐらい来たかというのは予想つくと思うので、その数だけこれを切り取って、こういう形にしておかないとちょっと厳しいんじゃないかなと思うので、やっぱり1回作業のために少し時間をとったほうが、私は当日慌てなくて済むんだと思うんですけど。

原嶋議長 前日もそうなんです、そのことで呼びかけて、こういう社会教育委員の会議という形でなくてお願いしたので、呼びかけてお手伝いしていただけると助かると思うんですよ。

佐野委員 ちょっと8月の日程のあれはどうなんですか。要するに、今議長がおっしゃった。

原嶋議長 動く可能性もありますよね、この26が。これを一応視察と入れていったので、そうですね。

小堀生涯学習係長 そうですね、視察研修が会議の一つになってしまうので、どこかともともと決まっていた会議の一つを視察研修に充てないといけないので、時期的には8月26日の分を9月の視察研修に充てるような形になると思います。

原田委員 これ、前日の3時間では時間的に足りないんですか。

石田委員 前日の3時間は、科学の祭典を開催するに当たっての注意事項があるんですね、1時から。2時間ぐらいやって、その後の13、14、15ですよね。それで、最終で1時間が会場準備くらいになると思うんですよ。

原田委員 では、やっぱり事前のほうがいいですね。

石田委員 そして、10月9日、片づけた後反省会、懇親会があるんです。書いてあるんですが、それが例年の日程だったんですが、10月9日やって以後に懇親会はとともきついと、無理ですという意見が結構あって、参加者も少なくなっているんですね。なので、前日の8日、準備をした後、少し懇親会をしたらどうかという意見が出



ています。これはまだ決まっています。

原嶋議長            いずれにしてもやっぱりを設定したほうがいいな。

佐野委員            佐野ですけれども、要するに、私たちの感覚では、もう8月26日は社会教育委員の会議があるというふうに予定で全部入れちゃってあるんですけれども、ですから、仮にそういうことで研修をその社会教育、これ、予算的な問題と思うんですけれども、要するに2時間ぐらい、都合のつく方は集まっていただいて作業をしておいたほうが、当日のためにいいんじゃないかなという気がするんですけど。

ただ、会場がとれるかどうか、ちょっとあれなんですけれども。

石田委員            601か何かでやりましたよね。

小山田委員        そうですね。

佐野委員            だから、どうですか、2時間ぐらいでは難しいですか。

石田委員            2時間ぐらいあればできますね。

佐野委員            1時間半とか2時間ぐらい。早く終われば終わったほうがいいですけど。

石田委員            その前に、もし日にちが決まれば、こういう模様でとか、あと考えられたらほかの模様でコピーはしておきます。紙を買って。

原嶋議長            10月の初旬ごろに集ってもらえますか。集まれる方。このための準備ということで。例年お願いしているんですが、全員来れなくてもやむを得ないかもしれませんけれども、若干、1時間か2時間で進めていたのでお願いできますか。場合によっては、こういう部屋を貸していただくということになると思うんですね。

どうしましょう。石田委員さん、10月、ご提言いただければ、その日、ぱっと言ってくだされば。当日、多分石田さんは忙しいので、事務局の偉い人なので。

石田委員 偉くないです。偉くないです。

原嶋議長 石田さんは当日あまり頼りにしない。もちろん僕も頼りにしないでください。

石田委員 下っ端なので飛び回っています。10月ですと、すごい勝手なんですけど、月曜日と金曜日の3日と7日だったら対応できます。

原嶋議長 10月3日と10月7日。

石田委員 月、金なんですけど。あとはちょっと済みません、仕事の予約が入っています。

北村委員 私は10月3日でオーケーです。

原嶋議長 いいですか。

原田委員 原田も3日オーケーです。

佐野委員 ということは、8月26日は、これ、会議がないというふうに。

原嶋議長 ない。視察のほうに回す。これは決定じゃない、不確定要素があるということです。

佐野委員 これはないということですね。よろしいですか。

原田委員 でも、視察が8月26日かどうか、まだ。

原嶋議長 かどうかはまだわからない。相手さんのいることなので、まだ、だからクエスチョンマークですね。

そうすると、科学の実験のための準備を10月3日月曜日、10時ごろでどうですか。午前中、午後。

石田委員 あと1日対応できます。

原嶋議長           では、10時ごろ、石田さんに来ていただいて、講師。

小山田委員           私はちょっと午前中はだめなんですけど。

原嶋議長           午後オーケー。

小山田委員           2時以降なら。

原嶋議長           14時から、石田さんはどうですか。

石田委員           大丈夫です。

原嶋議長           では、10月3日月曜日、来れる人はぜひ。場所については小堀さんのほうで押さえていただけますか。

小堀生涯学習係長   そうですね、またちょっと時間が決まったらご連絡すると。

石田委員           昨年、601で対応できたので、そんなに広くなくて大丈夫です。

原嶋議長           この日は科学の祭典の準備ということで、よろしく願いいたします。

佐野委員           ちょっと佐野ですけど、こういうことを言って、私が出ないのは何か非常に心苦しいんですけども、10月、ちょっといろいろな行事が入っていますので、申しわけないですが。

原嶋議長           10月3日、2時から、場所は追って連絡するということと、改めてこの科学の祭典についての前日準備と、午前と午後のパートを、ぜひこの日あけていただいて、みんなで取り組もうということによろしいですか。

                          これの役割についても、またメール等で渡して、流れていく格好になると思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

                          この件はよろしいですか。

                          では、次に次第のほうに行きます。その他がないということなの

で、報告いたします。報告については入っていない。お願いしたプリントって入っていない。理事会の資料は。

小堀生涯学習係長 緑色のニュースレターになります。

原嶋議長 ごめんなさい。ニュースレター。

小堀生涯学習係長 あとご協力のお願い、趣意書の3種類です。

原嶋議長 それでは、ニュースレターをごらんください。この前、私のほうと事務局の方で理事会に行かせていただきました。一番のメインは、このところ懸案となっています社協のこれからの問題をどうしていくのかということであると思います。

とりわけ組織存続に関する緊急提案ということで、メール等でいろいろな情報、資料をいただいているというふうに思っています。このときに、5月17日に総会があるということで、都道府県のそれぞれの長が集まったということです。

組織存続に関する緊急提案がありまして、長野県の会長さんが早く決議してくださいということで採択に入ったということです。これ、議事録がありますので、必要ならばコピーを求めてください。結果、賛成31団体、反対3団体、賛否保留12団体ということで最終的には、いわゆる会費、寄附の呼びかけが議決された。東京都のトップの方は、まだ東京都では決まっていない。都社連は。なので白票を投じたということで、本人はこれは強行採決だとおっしゃっていましたが、既にもう採決はこういう形になったということでもあります。

よって、あくまでもこれはご本人が抛出しているかどうかということになると思います。なので、ご本人が希望されれば、一番最後の赤いところにありますけれども、一口2,000円ということで、この存続のために支持してくださいというようなことが報告としてありました。

これをこの理事会で協議したとか何かじゃなくて、もう採決が終わっている段階なので、その話を受けたということでもあります。

これが以上、私の報告であります。何か質問ありますか。質問されても報告だけなので。

会長、都社連の方はふんまんやる方ないといっても、こういった議決のあり方もあるのかなということで、終わりになりました。

このことに関して、先ほど言いましたように、いろいろとありますので、読ませてほしいということであれば事務局からコピーをしていただけるのではないかとというふうに思っております。

以上がこの前の理事会、7月19日の理事会での報告であります。せつかくとじていただいたので、皆さんお読みいただければというふうに思っています。

それでは、その次、行きましょう。(2)に入ります。リオのオリンピック・パラリンピックの関係事項について。これは。

石原生涯学習課長 小金井市在住の方、在勤の方、在学の方などでオリンピック・パラリンピックへの代表選手に選出された方々がいらっしゃるので、簡単に口頭でご報告をさせていただきます。

まず、小金井市在住の方といたしましては、日本郵政女子陸上部の寮が小金井市内にあるので、小金井市民ということになりますが、女子の1万メートルに関根花観さんと鈴木亜由子さんが出場いたします。それから、これは重複しての選出になるんですが、女子の5,000メートルには鈴木亜由子さんが出場いたします。鈴木亜由子さんは、在住とともに勤務先も小金井郵便局ですので、在住在勤の方ということになります。

8月12日金曜日の11時10分から1万メートルの決勝が行われます。それから、8月16日の火曜日、これもちょっと夜遅い時間になると思いますけれども、女子の5,000メートルの予選が行われて、もし鈴木亜由子さんが決勝に進出となりましたら、8月20日土曜日の9時40分から5,000メートルの決勝が行われます。それで、8月12日の金曜日と8月20日の土曜日については、小金井 宮地楽器ホールでパブリックビューイングをやる予定にしております。確定するのが、議会の臨時会が7月28日にあるので、そこで議会の議決後にパブリックビューイングを開催するための予算の執行ができるということになります。

それから、そのほか、パラリンピックに市内に在勤、情報通信研究機構に勤めていらっしゃる吉田信一選手が車椅子卓球で出場が決まっております。こちらのほうは、開催は9月8日から9月1

7日までの間、パラリンピックの卓球競技が行われるということで、吉田選手自体がちょっとどの辺に出場されるのかという情報を、まだ発表されていないようなんですが、発表されたときには、今年はパラリンピックもNHKの総合テレビで放映がされるそうでございますので、ぜひ応援をよろしくお願いします。

それから、FC東京が小金井市もFC東京に出資しているんですけども、小金井市民というわけではないんですが、FC東京の選手が2選手、オリンピックの五輪の男子代表に選出されてございまして、中島翔哉さんと室屋成さんが五輪の代表選手として出場いたしますので、そちらのほうの応援もよろしく願いいたします。

それから、直近で一番新しく決まった情報なんですけれども、学芸大の3年生の小出深冬さんがラグビーの女子の代表に選出されました。それから、学芸大のOGである同じ社会人チームに所属している谷口令子さんも、女子のラグビーの代表としてリオのほうに行かれますので、そちらのほうもぜひ応援のほうをよろしく願いいたします。

ちょっと予算の関係でどうなるのかは、現時点では確定的なことは申し上げられないんですが、駅の周辺の宮地楽器ホールや駅などにも横断幕であるとか懸垂幕などを出して、小金井市在住の選手を中心に応援の雰囲気盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

原嶋議長

ありがとうございました。

小金井の駅のところには小金井の陸連のほうで大きな横断幕を掲げてあります。通るときにごらんになっていただければと思います。

8月12日、夜中ですけど、応援していただければと思います。

SNSだって、フェイスブックか何かで、北村さん、何かこういうのあるよなんていうのを送っていただけると、またお友達が来るのかもしれない。ただ、明日仕事の人、翌日ですか、かなりきついでしょね。にぎわいを見せるといいですよ。お声をかけていただければというふうに思っております。よろしくお願いします。

これで一応終わるんですけど、僕の方で最後のちょっと確認をさせていただきます。これ、先ほど、結構、8月、7月からタイトなスケ

ジュールが何かあるのは、皆さんに関係していることがあるので確認させてください。28年度の日程表、2月まで出ておりますので、今年までのですけれども、よろしいですか。今日が終わりました、8月26日はクエスチョンマークで視察先を今、これから検討していただく。9月10日が、これ、第5ブロック研修会、私ども小金井とか武蔵野、三鷹などもそうなんですけど、今度は武蔵野市が幹事市なので、これもやっぱりおつき合い、こういう形でみんなで顔出す必要があるのかなというのは、去年か一昨年、私ども小金井市も貫井北センターで、若者たちを囲んだこれからのつながりというのをやったときに、ほんとうに狛江みたいに遠くからも多くの方々が来ていただいて、なおかつ宴会の部ですか、2次会の部まで顔を出していただいた。やっぱりこれは持ちつ持たれつの会なのかなというのがあります。

9月10日、ぜひお願いしたいというふうに思っています。これも参加をとったほうがいいですかね、やっぱり。

小堀生涯学習係長 まだ通知が何も来ていない状態なので。

原嶋議長 通知来ていないですか。内容を含めてね。

小堀生涯学習係長 通知が来てから、また皆さんにメールでお知らせする形になると思います。

原嶋議長 ぜひ、ここのところいろいろ、さっきの視察研修もどこで入るかまだわかりませんが、こういったこともご協力いただければと思います。

ある意味、正式な会議は、ですから10月21日からまたあるんですけども、10月9日には科学の祭典が入っております。そして、27、28という、これはお二人の方でお願いするんですけども、11月18日、12月11日が、これ、都社連の全体研修会が八王子で行われます。これも細かなことは出てきていないんですけども、これもできたら顔を出していただければと思っておりますので、こういったように今後の日程をつくっていただきましてありがとうございます。

それと同時に、社会教育委員さんも、特に僕が強調したのは第5

ブロック研修会ですが、これはほんとうにお願いしたいなと思います。それぞれ各市で取り組んでいる内容なんかも発表しなくてはいけないので、その資料なんかも場合によっては公民館さんなんかで必要になってくると思います。

ここで言っていることはぜひスケジュールに入れていただければというふうに思います。よろしくお願いします。

小山田委員      あと報告で、放課後子ども教室の運営委員会が9月29日にありますので、簡単にご報告をさせていただきます。佐野委員もご参加されていると思うんですが、各小学校からの、まずご報告がありまして、どちらの小学校も非常に活発に取り組んでいらっしゃるというのがあります。

今、内部の内規というルールづくりというのをされているということで、小委員会のほうで話しながらやっているということと、あとは各放課後子ども教室もボランティアを募集されているという人がいないというか、ちょっと増やしていきたいみたいな方向ということで、人材を募集されていまして、一応もしどなたかいらっしゃいましたらということで、ご報告をさせていただきます。

あと、7月中に各放課後子ども教室の中で委員と自由に見学するということになりますので、それぞれ事務局にきているということをやっています。

以上でございます。

原嶋議長      ご苦勞様でした。そのほか、派遣の関係でありますか。  
これで終わりたいと思いますけれども、よろしいですか。  
いろいろなご審議をありがとうございました。どうも、今日はお疲れさま。

石田委員      今日、これがいただいています、これからこれはプリントをしていただけるんですか、今回だけ。

原嶋議長      いや、毎回毎回。

石田委員      毎回。自分、毎回もらっていなかったと思うんですよ。



石原生涯学習課長 基本的にはメールで届いた段階でオーケーが出たら、ホームページのほうに公開されるので、誰でも取り出せるようになるんですけど、前回、その文末とかの統一をというご要望をいただいたので、確定版をご確認いただく機会が、ちょっと今回の会議でしかなかったのでお配りさせていただきました。

石田委員 今回だけ特別でということですね。いや、毎回いただけるなら、プリントアウトしないでパソコン上で見るだけで済むんですが、40ページぐらいになりますので。じゃ、済みません、確認でした。それと、最後に、科学の祭典でロゴマークを今年募集するんですが、これを皆さんに配ってよろしいでしょうか。済みません、1枚ずつ。

北村委員 これ、子どもがもらってきました。

石田委員 各学校には、もう全部配りました。置いておきますか。生涯学習に少し持っていきましょうか。

原嶋議長 回しましょうか、よろしいですか。

西田生涯学習部長 私はありますので。

原嶋議長 ご発言はいいですか。

西田生涯学習部長 特に。済みません。今日は予定されていた会議だったので、ちょっとお断りできなくて、おくれてまいりまして。おくれてまいったところがもうご報告までさせていただいていた段階だったので申しわけありませんでした。

これから、視察等をはじめ、いろいろ秋にかけて、かなりちょっと先ほど原嶋議長からもありましたけれども、非常にタイトなスケジュールが続きますけれども、どうかおつき合いいただけますようによろしくお願いいたします。

私からは以上でございます。

原嶋議長

それでは、ここで終わらせてください。どうもお疲れさまでした。